



ふくだい専門看護師・認定看護師たより

No.3 令和7年10月発行

発行：福井大学医学部附属病院

専門・認定看護師連絡会 広報担当

認知症看護分野：丸木 裕美

私は当分野の役割の中で、赤字の部分を持に意識して活動しています。

1. 認知症の人の意思を尊重し、**権利を擁護**する
2. 認知症の人の**状態像を統合的にアセスメント**し、ケアの実践、ケア体制づくり、家族のサポートを行う
3. BPSDを悪化させる要因に働きかけ、予防・緩和する
4. **安心かつ安全な生活・療養環境**を調整する
5. **他疾患合併による影響をアセスメント**し、健康管理を行う
6. 保健・医療・福祉に精通し、地域にある社会資源を活用しながらケアマネジメント行う
7. **実践を通して役割モデルを示し**、関連職種に対する具体的な指導・相談対応を行う
8. **多職種と協働**し、認知症に関わる知識の普及とケアサービス推進の役割を担う

ご本人、関わる全ての方のアイデアを結集することが大事と思っております。認知症ケアについて皆様と一緒に学び、考えていきたいです。



認定分野：糖尿病看護認定看護師 中西美穂子

糖尿病看護認定看護師とは？
糖尿病とともに生活をしている人が、自分らしく生活ができるように、血糖コントロールや社会生活を支援していく看護師です

11月14日は「世界糖尿病デー」です
world diabetes day is November
糖尿病の脅威が世界的に拡大しているのを受け、世界規模で糖尿病についての理解を高め対策しようとして制定されました。各地で著明な建造物をブルーにライトアップし、啓発活動を実施しています。当院でも外来で血糖測定やInBody測定などを行います。

「みんなでいこっさ！健康フェスタ」で一般の方に血糖測定を行いました！

10月18日に健診イベントで血糖測定を行いました。約60名の方が来場され、中には血糖値が高めの方もおり、自覚症状がない病気だからこそ、このような機会を設け、糖尿病や自分の血糖値について知ってもらう重要性を感じました。



乳がん看護：浦井真友美

「プレスト・アウェアネス」という言葉を聞いたことがありますか？普段私たちは、自分の乳房に関心を持って変化を気にすることはありますか？

プレスト・アウェアネスとは、「乳房を意識する生活習慣」のことです。日常的に自分の乳房の状態を知り、変化に気づくことで、乳がんの早期発見につながります。プレスト・アウェアネスのポイントは、右のポスターに書かれた4つになります。



自己触診は自分で行う「検診行為」という意味合いで使われ、検診の代替えとして位置づけられます。だからこそ検診ではなく、日常的に自分の乳房に意識を持つことを習慣化できるように「プレスト・アウェアネス」を普及するようになりました。私は、毎年「ふくいピンクリボンの会」での乳がん検診の受診率向上とプレスト・アウェアネスの啓発活動に参加しています。検診年齢(40歳)に満たない若い方にも乳房を見て、触って、感じるという気軽な気持ちで習慣づけしてほしいと思っています。皆さんも、ぜひ自分の乳房に関心を持って、周りの方にも広めて下さい。



